

ボランティアグループ  
「高取町ご意見番」  
代表幹事 中西 宏 次 様

高取町長 植 村 家 忠



高取町長への公開質問状について（回 答）

平成29年8月14日付けで質問のあったことについて、下記のとおり回答します。

記

1. 町の福祉施策について

【回 答】

・団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるような、地域包括ケアシステムの構築が求められています。

本町におきましては、介護保険事業計画の策定にあたり、6月から7月にかけて、生活状況や介護ニーズの把握のために町内在住の高齢者の方々に対するアンケート調査を行いました。現在、集計分析中です。

総合事業につきましては、既存の介護事業所による既存のサービスに加えて、住民等による地域の多様な主体を活用して、高齢者を支援するものとされています。総合事業のうち、一般介護予防事業につきましては、昨年度、県のモデル事業の指定を受けて、地域包括支援センターが中心となり、住民主体で取り組んでいただける「いきいき百歳体操」を開始いたしました。現在、取り組んでいただける地域や団体が増加している状況ですが、さらなる展開の広がりを目指していきたいと思っております。

今後は、2025年の超高齢社会への対応に向けて、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、介護保険制度の持続可能性を確保することに配慮し、中長期的な視野に立って、取り組みや方向性の検討を進めていく必要があると考えています。

2. 高取町社会福祉協議会について

【回 答】

・本町の社会福祉協議会に対しましては、平成20年度から補助金を廃止し、それ以降、現在までの間、社協自らの収入により、各種事業の運営に努めてこられたところです。悪化した財政状況を立て直すためには、社協自身の経営努力が必要であることは言うまでもありませんが、町といたしましても、補助金を含めた何らかの支援策を検討するべき時期に来ていると感じています。

「社協は、地域福祉推進の中核的な役割を担う重要な団体であり、町が行う各種施策を実施していく上で重要なパートナーである。」と考えています。

今後は社協と行政が、ともに地域福祉を推進するため、より一層、緊密な関係を構築できるよう、連携に努めていきたいと思っております。